

## Ⅱ 離床を行う上での基礎知識

### Ⅱ-16. 合併症

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□Ⅱ-16.1 誤嚥性肺炎	□Ⅱ-16.1.1 誤嚥性肺炎の病態・原因について理解している	□ 誤嚥性肺炎の病態・原因について説明できる	R-18 脳卒中 R-19 嚥下 R-26 在宅呼吸		○
		□ 誤嚥性肺炎を起こす疾患について説明できる			○
	□Ⅱ-16.1.2 誤嚥性肺炎の予防法について理解している	□ 誤嚥性肺炎の予防法について説明できる	R-18 脳卒中 R-19 嚥下 R-26 在宅呼吸		◇
		□ 口腔ケアの具体的な方法について説明できる			◇
		□ 摂食時の良姿勢について説明できる			◇
		□ 横向き嚥下について説明できる			◇
		□ 食形態の工夫について説明できる			◇
	□Ⅱ-16.1.3 必要な検査項目について理解している	□ 誤嚥性肺炎を疑う際に、必要な検査項目を3つ以上挙げられる	R-19 嚥下		☆
		□ 誤嚥性肺炎と離床の関係について説明できる	R-18 脳卒中 R-19 嚥下 R-26 在宅呼吸		☆
	□Ⅱ-16.1.4 誤嚥性肺炎と離床の関係について理解している				
□Ⅱ-16.2 人工呼吸器関連肺炎	□Ⅱ-16.2.1 人工呼吸器関連肺炎の病態・原因について理解している	□ 人工呼吸器関連肺炎の病態・原因について説明できる	R-04 人工理論 R-16 肺炎		○
		□ 人工呼吸器関連肺炎の発生経路について説明できる			○
		□ 人工呼吸器関連肺炎の予防法を5つ挙げられる	R-04 人工理論 R-16 肺炎		◇
		□ 人工呼吸器関連肺炎と口腔ケアの関係について説明できる			◇
		□ 人工呼吸器関連肺炎と人工呼吸器離脱の関係について説明できる			◇
		□ 人工呼吸器関連肺炎と鎮静薬の関係について説明できる			◇
	□Ⅱ-16.2.3 必要な検査項目について理解している	□ 人工呼吸器関連肺炎と離床の関係について説明できる	完全2 P39		◇
		□ 人工呼吸器関連肺炎を疑う際に必要な検査項目について説明できる	R-04 人工理論 R-16 肺炎		☆

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅱ-16.2.4 人工呼吸器関連肺炎と離床の関係について理解している	□人工呼吸器関連肺炎と離床の関係について説明できる	R-04 人工理論 R-16 肺炎  完全2 P39		☆
□Ⅱ-16.3 急性呼吸窮迫症候群(ARDS)	□Ⅱ-16.3.1 ARDSの病態・原因について理解している	□ARDSの病態・原因について説明できる	R-28 臨床画像 R-35 急性期 R-38 X-P・CT		○
		□ARDSを呈した患者におけるX-P上の特徴について説明できる			○
	□Ⅱ-16.3.2 ARDSの各予防法について理解している	□ARDSの各予防法について説明できる	R-28 臨床画像 R-35 急性期 R-38 X-P・CT		◇
		□ARDSに対する体位変換の有効性について説明できる			◇
		□ARDSと鎮静の関係について説明できる			◇
	□Ⅱ-16.3.3 ARDSの治療法について理解している	□ARDSを呈した患者における輸液管理について説明できる	R-28 臨床画像 R-35 急性期 R-38 X-P・CT		☆
		□ARDSを呈した患者における体位変換について説明できる			☆
	□Ⅱ-16.3.4 必要な検査項目について理解している	□ARDSを疑う際に、必要な検査項目について説明できる	R-28 臨床画像 R-35 急性期 R-38 X-P・CT		☆
	□Ⅱ-16.3.5 ARDSと離床の関係について理解している	□ARDSと離床の関係について説明できる	R-28 臨床画像 R-35 急性期 R-38 X-P・CT  完全2 P25		☆
□Ⅱ-16.4 深部静脈血栓症、肺塞栓症	□Ⅱ-16.4.1 深部静脈血栓症・肺塞栓症の病態と原因について理解している	□深部静脈血栓症・肺塞栓症の病態と原因について説明できる	R-21 DVT		○
		□Virchowの3徴候について説明できる			○
		□DVTの症状について説明できる			○
		□PEの症状について説明できる	フィジ P165-166		○
	□Ⅱ-16.4.2 深部静脈血栓症、肺塞栓症の予防法について理解している	□深部静脈血栓症、肺塞栓症の予防法を4つ挙げられる	R-21 DVT		◇
	□Ⅱ-16.4.3 各予防法の特徴と有効性について理解している	□DVTの予防法について説明できる	R-21 DVT		◇

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅱ-16.4.4 必要な検査項目について理解している	□DVTを疑う際に、必要な検査項目について説明できる	R-21 DVT		☆
		□Homans signについて説明できる	フィジ P48		☆
		□D-ダイマーについて説明できる			☆
		□静脈エコーについて説明できる			☆
	□Ⅱ-16.4.5 深部静脈血栓症・肺塞栓症と離床の関係について理解している	□深部静脈血栓症・肺塞栓症と離床の関係について説明できる	R-21 DVT  完全2 P160 フィジ P165-166		☆
□Ⅱ-16.5 多臓器不全	□Ⅱ-16.5.1 多臓器不全の病態・原因について理解している	□多臓器不全の病態・原因について説明できる	K-02 リスク R-16 肺炎 R-36 周術期		○
		□SOFAスコアもしくはAPACHEスコアについて説明ができる			◇
	□Ⅱ-16.5.2 多臓器不全を予防する方法について理解している	□多臓器不全を予防する方法について説明できる	K-02 リスク R-16 肺炎 R-36 周術期		◇
	□Ⅱ-16.5.3 多臓器不全を予防する方法の特徴と有効性について理解している	□多臓器不全を予防する方法の特徴と有効性について説明できる	K-02 リスク R-16 肺炎 R-36 周術期		◇
	□Ⅱ-16.5.4 必要な検査項目について理解している	□多臓器不全を疑う際にな検査項目について説明できる	K-02 リスク R-16 肺炎 R-36 周術期		☆
	□Ⅱ-16.5.5 多臓器不全と離床の関係について理解している	□多臓器不全と離床の関係について説明できる	K-02 リスク R-16 肺炎 R-36 周術期		☆
□Ⅱ-16.6 播種性血管内凝固症候群（DIC）	□Ⅱ-16.6.1 DICの病態・原因について理解している	□DICの病態・原因について説明できる	R-29 血デ  完全2 P72		○
	□Ⅱ-16.6.2 DICの予防法について理解している	□DICの予防法について説明できる			◇
	□Ⅱ-16.6.3 DICの治療法について理解している	□DICの治療法について説明できる			◇
	□Ⅱ-16.6.4 必要な検査項目について理解している	□DICを疑う際に必要な検査項目について説明できる	R-29 血デ  完全2 P65		☆
	□Ⅱ-16.6.5 DICと離床の関係について理解している	□DICと離床の関係について説明できる	R-29 血デ		☆

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□Ⅱ-16.7 全身性炎症反応症候群（SIRS）	□Ⅱ-16.7.1 SIRSの病態・原因について理解している	□ SIRSの病態について説明できる	R-16 肺炎		○
		□ SIRSの診断基準について説明できる	R-16 肺炎		○
	□Ⅱ-16.7.2 SIRSの治療法について理解している	□ 軽度～中等度のSIRSに対する治療法について説明できる			◇
		□ 重症のSIRS に対する治療法について説明できる			◇
	□Ⅱ-16.7.3 SIRSの予防法について理解している	□ SIRSの予防法を説明できる			◇
□Ⅱ-16.7.4 必要な検査項目について理解している	□Ⅱ-16.7.4 必要な検査項目について理解している	□ SIRSを疑う際に必要な検査項目について説明できる			☆
		□ SIRSと離床の関係について説明できる			☆
		□Ⅱ-16.7.5 SIRSと離床の関係について理解している			☆
□Ⅱ-16.8 末梢神経麻痺	□Ⅱ-16.8.1 末梢神経麻痺について理解している	□ 末梢神経麻痺の原因について3つ挙げられる	K-02 リスク		○
		□ 末梢神経麻痺の症状について3つ挙げられる	K-02 リスク		○
		□ ポジショニングと末梢神経麻痺の関係について説明できる			☆
□Ⅱ-16.9 ICU-AW	□Ⅱ-16.9.1 ICU-AWの病態について理解している	□ ICU-AWの病態について説明できる	K-02 リスク 完全2 P17-19		○
		□ ICU-AWのリスク因子を3つ以上挙げられる	完全2 P19 P159-160		○
	□Ⅱ-16.9.2 ICU-AWの評価について理解している	□ ICU-AWの評価方法について説明できる	K-02 リスク 完全2 P54 P159-160		◇
		□ ICU-AWを予防する方法を3つ以上挙げられる	K-02 リスク 完全2 P160		◇
□Ⅱ-16.10 イレウス	□Ⅱ-16.10.1 イレウスの病態・原因について理解している	□ イレウスの病態・原因について2つ挙げられる	フィジ P183		○
		□ イレウスの予防法を挙げられる			☆

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
		□術後での早期離床とイレウスの関係について説明できる			☆
		□イレウスの予防と食事について説明できる	J-07 フィ実		◇
		□イレウスの予防と脱水について説明できる			◇
	□Ⅱ-16.10.3 イレウスの治療法について理解している	□イレウスを呈した患者の飲食について説明できる	フィジ P183-184		◇
		□イレウスの治療法を2つ挙げられる	フィジ P183-184		◇
	□Ⅱ-16.10.4 各予防法について理解している	□イレウスの予防法について説明できる			☆
	□Ⅱ-16.10.5 必要な検査項目について理解している	□イレウスを疑う際に必要な検査項目について説明できる			☆
		□イレウスを呈した患者に対するフィジアセスメントの特徴について説明できる	J-07 フィ実 フィジ P183-184 P211		☆
		□臥床時と座位時でのX-P画像の特徴について説明できる	R-28 臨床画像		☆
	□Ⅱ-16.10.6 イレウスと離床の関係について理解している	□イレウスと離床の関係について説明できる	J-07 フィ実		☆
□Ⅱ-16.11 関節拘縮	□Ⅱ-16.11.1 関節拘縮の病態・原因について理解している	□関節拘縮の原因について3つ挙げられる	J-04 ROM 完全2 P198 フィジ P92		○
	□Ⅱ-16.11.2 関節拘縮の予防法について理解している	□関節拘縮の予防法を挙げられる	J-04 ROM 完全2 P198-199 フィジ P92		○
	□Ⅱ-16.11.3 必要な検査項目について理解している	□関節拘縮を疑う際に必要な検査項目について説明できる	J-04 ROM フィジ P89-92		◇
	□Ⅱ-16.11.4 関節拘縮と離床の関係について理解している	□関節拘縮と離床の関係について説明できる	J-04 ROM フィジ P88 P93		☆
□Ⅱ-16.12 褥瘡	□Ⅱ-16.12.1 褥瘡の病態・原因について理解している	□褥瘡の病態・原因を4つ挙げられる	R-49 褥瘡 完全2 P161		○
		□褥瘡状態を評価するスケールを挙げられる			◇
		□褥瘡のリスクアセスメントスケールを2つ挙げられる			◇
		□良性肉芽と不良肉芽の説明ができる			☆

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅱ-16.12.2 褥瘡の予防法について理解している	□ 褥瘡の予防法を4つ挙げられる	R-49 褥瘡 完全2 P161		◇
	□Ⅱ-16.12.3 各予防法の特徴と有効性について理解している	□ 体位変換について説明できる	R-49 褥瘡 完全2 P161		○
		□ 臥床時・座位時における体圧分散について説明できる			◇
		□ 栄養状態と褥瘡の関係について説明できる	完全2 P20 P72-73 P161		◇
		□ スキンケアと褥瘡の関係について説明できる	完全2 P161		◇
	□Ⅱ-16.12.4 必要な検査項目と褥瘡の関係について理解している	□ 褥瘡を疑う際に必要な検査項目を挙げられる	R-49 褥瘡 完全2 P20 P72-73 P161		☆
	□Ⅱ-16.12.5 褥瘡と離床の関係について理解している	□ 褥瘡と離床の関係について説明できる	R-49 褥瘡 完全2 P20 P161		☆
□Ⅱ-16.13 癌（がん・転移）	□Ⅱ-16.13.1 癌（がん）の病態・原因について理解している	□ 癌（がん）の代表的な病態を3つ以上挙げられる	R-32 がん		○
		□ 上皮細胞癌（固形癌）について説明できる			◇
		□ 非上皮細胞癌（固形癌）について説明できる			◇
		□ 造血器がんについて説明できる			◇
		□ 癌（がん）の転移様式を3つ挙げられる			◇
		□ 臓器に転移しやすい癌（がん）を3つ挙げられる			◇
		□ 骨に転移しやすい癌（がん）を4つ挙げられる			◇
		□ 癌（がん）特有の合併症を5つ挙げられる			◇
		□ 骨髄抑制について説明できる			◇
		□ 悪液質について説明できる			◇
		□ 全人的苦痛（total pain）について説明できる			☆
		□ 癌（がん）特有の合併症の予防法（対応）について説明できる	R-32 がん		○
		□ 代表的な癌（がん）治療法を5つ挙げられる	R-32 がん		○
		□ 手術療法における適応と有害事象について説明できる			◇
		□ 化学療法における適応と有害事象について説明できる			◇
		□ 放射線療法における適応と有害事象について説明できる			◇

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
		<input type="checkbox"/> 免疫療法における適応と有害事象について説明できる			◇
		<input type="checkbox"/> 緩和治療における適応と有害事象について説明できる			◇
	□Ⅱ-16.13.4 必要な検査項目について理解している	<input type="checkbox"/> 癌（がん）の状態を評価する方法について説明できる	R-32 がん		○
		<input type="checkbox"/> PET-CTについて説明できる			○
		<input type="checkbox"/> 有害事象を評価する方法について説明できる			○
		<input type="checkbox"/> 病状の進行に伴う身体症状の評価について説明できる			◇
		<input type="checkbox"/> 病状の進行に伴う精神症状の評価について説明できる			◇
		<input type="checkbox"/> 悪液質について評価する方法について説明できる			◇
	□Ⅱ-16.13.5 癌（がん）と離床の関係について理解している	<input type="checkbox"/> 癌（がん）と離床の関係について説明できる	R-32 がん		☆
		<input type="checkbox"/> 緩和ケア・リハについて説明できる			☆
		<input type="checkbox"/> 家族・遺族ケア、グリーフケア、残された子どものケアについて説明できる			☆
□Ⅱ-16.14 浮腫	□Ⅱ-16.14.1 浮腫の病態・原因について理解している	<input type="checkbox"/> 全身性浮腫の病態を4つ挙げられる	J-13 浮腫 J-06 フィ理  完全2 P107-109 フィジ P159		○
		<input type="checkbox"/> 局所性浮腫の病態を2つ挙げられる			○
		<input type="checkbox"/> 浮腫発生のメカニズムを4つ挙げられる			○
	□Ⅱ-16.14.2 浮腫の予防法について理解している	<input type="checkbox"/> 浮腫の予防法について説明できる	J-13 浮腫		◇
	□Ⅱ-16.14.3 浮腫に対する治療法について理解している	<input type="checkbox"/> 浮腫に対する治療法について説明できる	J-13 浮腫  完全2 P108-109		◇
	□Ⅱ-16.14.4 必要な検査項目について理解している	<input type="checkbox"/> 浮腫を疑う際に必要な検査項目について説明できる	J-13 浮腫  完全2 P73 P75		☆
	□Ⅱ-16.14.5 浮腫と離床の関係について理解している	<input type="checkbox"/> 浮腫と離床の関係について説明できる	J-13 浮腫  フィジ P160		☆
□Ⅱ-16.15 糖尿病	□Ⅱ-16.15.1 糖尿病の病態・原因について理解している	<input type="checkbox"/> 糖尿病の病型について説明できる			○
		<input type="checkbox"/> 糖尿病の合併症について3つ挙げられる			○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅱ-16.15.2 糖尿病の予防法について理解している	□糖尿病の予防法について説明できる			◇
	□Ⅱ-16.15.3 必要な検査項目について理解している	□糖尿病を疑う際に必要な検査項目について説明できる	R-29 血デ 完全2 P70		☆
	□Ⅱ-16.15.4 糖尿病と離床の関係について理解している	□糖尿病と離床の関係について説明できる	R-29 血デ 完全2 P149		☆

大項目	中項目	小項目	確認印	
／ 15	／ 66	／ 129		<div> <div></div> <div>中項目の点数は P102 に転記して下さい</div> </div>